

平成28年長崎市観光統計



長 崎 市

・観光客数

長崎市への観光客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの観光客割合を考慮して推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の観光客数から宿泊客数を減じて算出している。

・個人客数・団体客数（一般・学生）

団体客数（一般・学生）は市内主要観光施設における団体客数（一般・学生）の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数（国・地域別）

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計（MICE件数・MICE参加人員）

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般観光客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の観光客数に乗じて算出している。

学生観光客の観光消費額は、「教育旅行年報」（日本修学旅行協会発行）における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の観光客数に乗じて算出している。

また、経済波及効果については、「長崎県産業連関表」に基づき長崎県内への経済波及効果を算出している。なお、平成27年は平成17年長崎県産業連関表を、平成28年は平成23年長崎県産業連関表を用いている。

目 次

1	平成28年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	観光客数・観光消費額の推移	6
4	月別観光客数	8
5	個人客・団体客の推移	9
6	宿泊客・日帰り客の推移	10
7	交通機関別観光客数の推移	11
8	クルーズ客船乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	20
— 参考資料 —		
1	観光客数の推移	22
2	主要観光施設の入場者数	23
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	23
4	宿泊施設の状況	24

1 平成28年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内延べ旅行者数			
6億4,108万人 前年比6.0%増(3,636万人増)			
うち宿泊旅行	3億2,566万人	前年比4.0%増	(1,267万人増)
日帰り旅行	3億1,542万人	前年比8.1%増	(2,369万人増)
日本人国内旅行消費額			
20兆9,547億円 前年比2.7%増(約5,457億円増)			
うち宿泊旅行	16兆335億円	前年比1.4%増	(2,215億円増)
日帰り旅行	4兆9,212億円	前年比7.1%増	(3,242億円増)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
32,687円 前年比3.2%減(1,063円減)			
うち宿泊旅行	49,234円	前年比2.5%減	(1,286円減)
日帰り旅行	15,602円	前年比1.0%減	(156円減)

日本人の国内旅行消費額は、東日本大震災前の平成22年以来の数字となった昨年をさらに2.7%上回った。宿泊旅行では16兆335億円で前年比1.4%増、日帰り旅行は4兆9,212億円で前年比7.1%増となり、日帰り旅行が好調であった。

(出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査」平成28年年間値(確報)

【参考】

・台風発生数等

	平成28年	平成27年	平年値
台風発生数	26	27	25.6
台風上陸数	6	4	2.7
全国接近数	11	14	11.4
九州北部接近数	3	4	3.2

(出典) 気象庁「2016年(平成28年)の台風について」

・レギュラーガソリン店頭現金価格(全国平均)

平成26年7月14日時点で169.9円まで上昇した後、価格は下がり始め、平成27年2月9日に133.5円まで下がった。

その後価格は上昇して同年7月6日に145.2円となったが、価格は下がり平成28年3月7日時点で112.0円となった。再び価格は上昇して12月26日時点で130.3円となった。なお、5月8日時点で133.1円となっている。

(出典) 資源エネルギー庁「石油製品価格調査」

訪日外客数

2,403万9,053人 前年比21.8%増(約430.2万人増)

平成28年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年(1,973万7,409人)を21.8%上回り、過去最高となった。これは、クルーズ船寄港数の増加、航空路線の拡充、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションに加え、ビザの緩和、消費税免税制度の拡充等が主な増加要因と考えられている。

(出典) 日本政府観光局(JNTO) 2016年年間推計値

外国人延べ宿泊者数

7,088万3,420人泊 前年比8.0%増(約527万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年(6,561万4,600人泊)を8.0%上回り、過去最高となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(16,834,870人泊、シェア26.3%)で、第2位以下は台湾(10,624,000人泊、シェア16.6%)、韓国(7,799,030人泊、シェア12.2%)、香港(5,204,600人泊、シェア8.1%)、アメリカ(4,341,830人泊、シェア6.8%)と続き、上位5か国・地域で全体の約70%を占める。

※前年の数値は、確定値。国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で6,406万7,520人泊となっている。

(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」平成28年年間値(速報)

訪日外国人旅行消費額

3兆7,476億円 前年比7.8%増(2,705億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

15万5,896円 前年比11.5%減(20,271円減)

訪日外国人の旅行消費額は、訪日外国人全体では増加したものの、1人あたりの旅行支出は前年を下回った。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(1兆4,754億円、シェア39.4%)、次いで台湾(5,245億円、シェア14.0%)、韓国(3,577億円、シェア9.5%)、香港(2,947億円、シェア7.9%)、アメリカ(2,130億円、シェア5.7%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の76.5%を占める。

1人当たり旅行支出は、オーストラリアが最も高く(24万7千円)、次いで中国(23万2千円)、スペイン(22万4千円)の順で高い。中国においては、1人当たり旅行支出が前年比18.4%減少した。

(出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成28年年間値(確報)

(2) 長崎市の観光動向

観光客数

672万3,500人【過去最高】 前年比0.4%増(2万9,700人増)

①宿泊客数 251万5,700人(前年比12.6%減)

日帰り客数 420万7,800人(前年比10.3%増)

②個人客数 581万2,600人(前年比2.8%増)

団体客数 91万900人(前年比12.4%減)

〔一般団体客数 63万6,300人(前年比14.3%減)

〔学生団体客数(修学旅行生) 27万4,600人(前年比7.6%減)

外国人延べ宿泊客数

31万386人泊 前年比8.2%減(約2.8万人泊減)

クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数

入港数 197隻【過去最高】 前年比50.4%増(66隻増)

乗客・乗務員数 71万7,288人【過去最高】

前年比65.1%増(約28.3万人増)

〔国内クルーズ船 入港数 7隻 前年比250.0%増(5隻増)

乗客・乗務員数 5,565人

前年比251.1%増(3,980人増)

〔国際クルーズ船 入港数 190隻【過去最高】

前年比47.3%増(61隻増)

乗客・乗務員数 71万1,723人【過去最高】

前年比64.4%増(約27.9万人増)

観光消費額

1,313億7,850万円 前年比4.0%減(約55億円減)

経済波及効果(長崎県内)

2,015億円 前年比6.3%減(約136億円減)

観光客1人あたり市内観光消費額

平均 19,540円 前年比4.4%減(902円減)

宿泊客 30,245円 前年比2.2%増(641円増)

日帰り客 13,140円 前年比2.8%減(384円減)

平成28年の長崎市の観光客数は、過去最高であった昨年の669万3,800人を更新し、前年比2万9,700人増(0.4%増)の672万3,500人となった。

このうち日帰り客数は420万7,800人で、前年を上回った一方、宿泊客数は前年比36万4,100人減(前年比12.6%減)の251万5,700人、さらに、団体客数についても、一般団体客数は前年比14.3%減の63万6,300人、学生団体客数(修学旅行生数)は前年比7.6%減の27万4,600人でともに減少した。

外国人延べ宿泊客数については、過去最高であった前年比2万7,896人減(8.2%減)の31万386人となった。国・地域別に見ると、前年と同じく上位3か国は韓国、台湾、中国となっており、3か国で約56%を占めており、アジア地域で全体の約70%を占めている。

平成28年の観光消費額は、観光客数は増となったものの、宿泊客数の割合が減となったことから、前年比約55億円減(4.0%減)で1,313億7,850万円となった。また、長崎県内への経済波及効果については前年比136億円減(6.3%減)の2,015億円となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

・熊本地震の発生

平成28年4月14日に発生した熊本地震の影響により、直後のゴールデンウィークをはじめ修学旅行を含む団体客、個人客とも宿泊施設における多数のキャンセルが発生した。その後も宿泊施設においては、前年割れしているものの、キャンペーン等の効果もあり回復傾向にある。

・各種キャンペーンの実施

熊本地震の影響による九州内の観光客の減少に対する対策として、「九州ふっこう割」が第1期(平成28年7月14日～9月30日)・第2期(同年10月1日～12月31日)にわたって実施され、九州内への宿泊観光の誘客効果があったと考えられる。

また、平成28年10月1日～12月31日の期間、「長崎デスティネーションキャンペーン」が実施され、熊本地震の影響により落ち込んでいたJR利用客の押し上げ効果があったと考えられる。

高速道路では、平成28年7月15日～12月18日の期間、「九州観光周遊ドライブパス」の販売が行われ、自動車利用の観光客の誘客効果があったと考えられる。

・クルーズ客船の入港隻数増加

長崎港へのクルーズ客船の入港については、中国におけるクルーズ市場の拡大に伴い、入港隻数は前年比50.4%増の197隻と過去最高を記録した。これは、博多港(328隻)に次ぐ、全国第2位の入港数である。

中国発着クルーズにおいては、アジア最大級(16万トン級)の『クァンタム・オブ・ザ・シーズ』及び『オペーション・オブ・ザ・シーズ』が配船されるなど、入港数の増加だけでなく、客船の大型化も進んでおり、中国からの乗客が前年比82.4%増の約44.6万人と大幅に増加したことにより、乗客・乗務員数は、前年比65.1%増の717,288人となり、過去最高を記録した。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		平成27年	平成28年	【単位：人、億円、％】	
				構成比	前年比増減
観光客数		6,693,800	6,723,500	100.0	0.4
旅行形態別	個人客数	5,653,900	5,812,600	86.5	2.8
	団体客数	1,039,900	910,900	13.5	△12.4
	一般	742,600	636,300	9.5	△14.3
	学生	297,300	274,600	4.0	△7.6
宿泊の有無別	宿泊客数	2,879,800	2,515,700	37.4	△12.6
	日帰り客数	3,814,000	4,207,800	62.6	10.3
交通機関別	JR	1,347,700	1,291,700	19.2	△4.2
	自動車	4,028,300	3,870,900	57.6	△3.9
	船舶	600,600	879,200	13.1	46.4
	航空機	717,200	681,700	10.1	△4.9
観光消費額		1,368	1,314		△4.0
経済波及効果		2,151	2,015		△6.3

3 観光客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	観光客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成10年	5,117,700	△100,300	△1.9	70,698,413	△6,583,932	△8.5
平成11年	5,047,800	△69,900	△1.4	69,384,935	△1,313,478	△1.9
平成12年	5,123,700	75,900	1.5	72,711,032	3,326,097	4.8
平成13年	5,052,600	△71,100	△1.4	71,334,560	△1,376,472	△1.9
平成14年	5,043,200	△9,400	△0.2	69,553,065	△1,781,495	△2.5
平成15年	5,037,500	△5,700	△0.1	71,012,330	1,459,265	2.1
平成16年	4,934,700	△102,800	△2.0	68,043,311	△2,969,019	△4.2
平成17年	5,393,500	458,800	9.3	72,150,208	4,106,897	6.0
平成18年	5,699,300	305,800	5.7	77,721,719	5,571,511	7.7
平成19年	5,640,900	△58,400	△1.0	77,422,055	△299,664	△0.4
平成20年	5,559,500	△81,400	△1.4	75,890,453	△1,531,602	△2.0
平成21年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	△788,838	△1.0
平成22年	6,108,300	522,700	9.4	(81,189,235) 110,880,935	(6,087,620) 35,779,320	(8.1) 47.6
平成23年	5,944,700	△163,600	△2.7	(79,296,173) 109,766,697	(△1,893,062) △1,114,238	(△2.3) △1.0
平成24年	5,952,900	8,200	0.1	(80,441,679) 115,446,919	(1,145,506) 5,680,222	(1.4) 5.2
平成25年	6,078,000	125,100	2.1	(83,099,360) 120,320,106	(2,657,681) 4,873,187	(3.3) 4.2
平成26年	6,306,800	228,800	3.8	(85,527,640) 124,323,000	(2,428,280) 4,002,894	(2.9) 3.3
平成27年	6,693,800	387,000	6.1	(90,418,408) 136,834,458	(4,890,768) 12,511,458	(5.7) 10.1
平成28年	6,723,500	29,700	0.4	(85,110,651) 131,378,500	(△5,307,757) △5,455,958	(△5.9) △4.0

※ 観光消費額は、平成22年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧) 平成12年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新) 連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額
 なお、(旧)の基礎数値にもとづく観光消費額を()で表示する。

図1 観光客数・観光消費額の推移

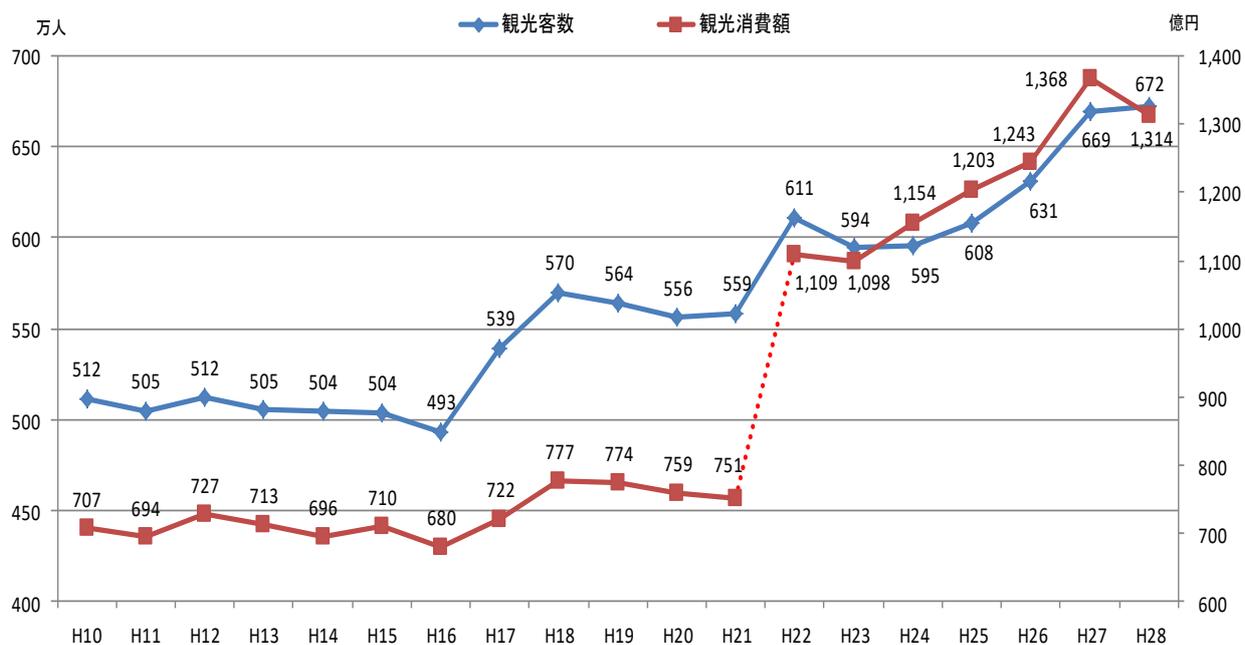
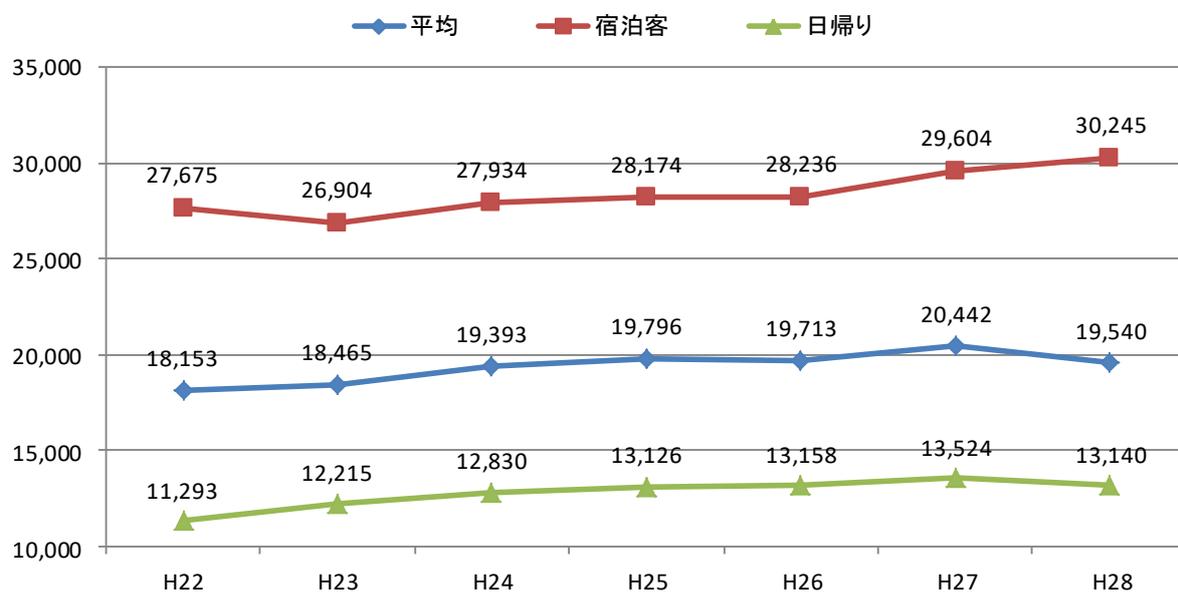


図2 平均観光消費単価の推移

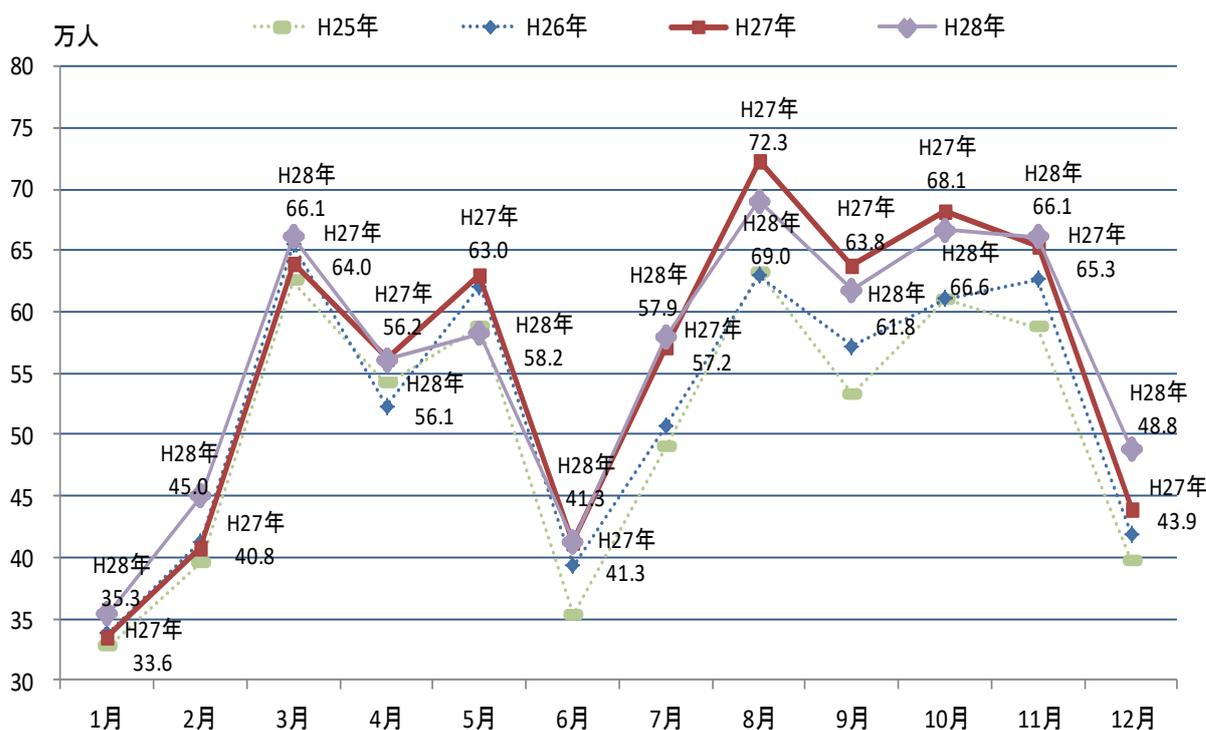


4 月別観光客数

【単位：人、％】

月	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 28 年	
				構成比	前年比増減
1 月	337,600	335,800	353,300	5.3	5.2
2 月	412,900	407,800	450,000	6.7	10.3
3 月	654,900	639,500	660,900	9.8	3.3
4 月	522,800	562,100	561,400	8.3	△0.1
5 月	620,800	629,500	582,400	8.7	△7.5
6 月	393,200	412,600	412,600	6.1	0.0
7 月	506,800	571,700	578,800	8.6	1.2
8 月	629,700	723,200	690,400	10.3	△4.5
9 月	572,100	638,200	617,800	9.2	△3.2
10 月	610,400	681,300	666,300	9.9	△2.2
11 月	626,500	653,200	661,300	9.8	1.2
12 月	419,100	438,900	488,300	7.3	11.3
計	6,306,800	6,693,800	6,723,500	100.0	0.4

図3 月別観光客数の推移

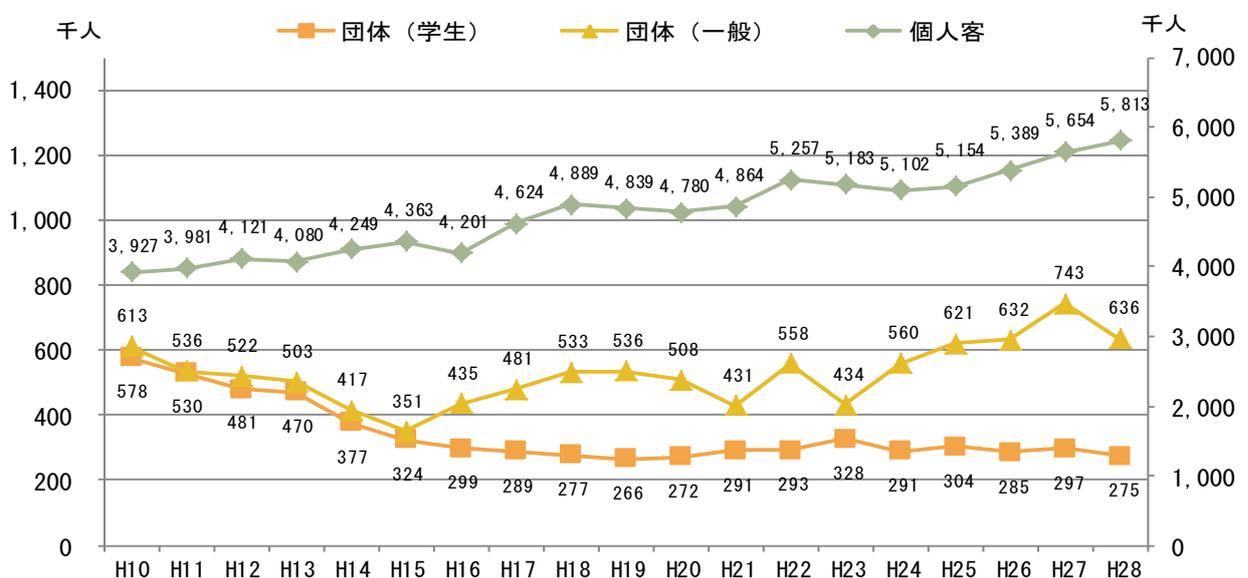


5 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成10年	3,926,800	0.6	1,190,900	△9.4	613,400	△12.6	577,500	△5.7
平成11年	3,981,400	1.4	1,066,400	△10.5	536,000	△12.6	530,400	△8.2
平成12年	4,120,800	3.5	1,002,900	△5.9	521,700	△2.7	481,200	△9.3
平成13年	4,079,900	△1.0	972,700	△3.0	502,800	△3.6	469,900	△2.3
平成14年	4,249,400	4.2	793,800	△18.4	416,800	△17.1	377,000	△19.8
平成15年	4,362,700	2.7	674,800	△15.0	350,500	△15.9	324,300	△14.0
平成16年	4,200,800	△3.7	733,900	8.8	435,400	24.2	298,500	△8.0
平成17年	4,624,300	10.1	769,200	4.8	480,500	10.4	288,700	△3.3
平成18年	4,889,300	5.7	810,000	5.3	533,000	10.9	277,000	△4.1
平成19年	4,839,000	△1.0	801,900	△1.0	535,500	0.5	266,400	△3.8
平成20年	4,779,800	△1.2	779,700	△2.8	508,000	△5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	△7.4	430,500	△15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	△1.4	761,800	△10.5	434,000	△22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	△1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	△11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	△0.7	632,200	1.9	285,200	△6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	△12.4	636,300	△14.3	274,600	△7.6

図4 個人客・団体客の推移

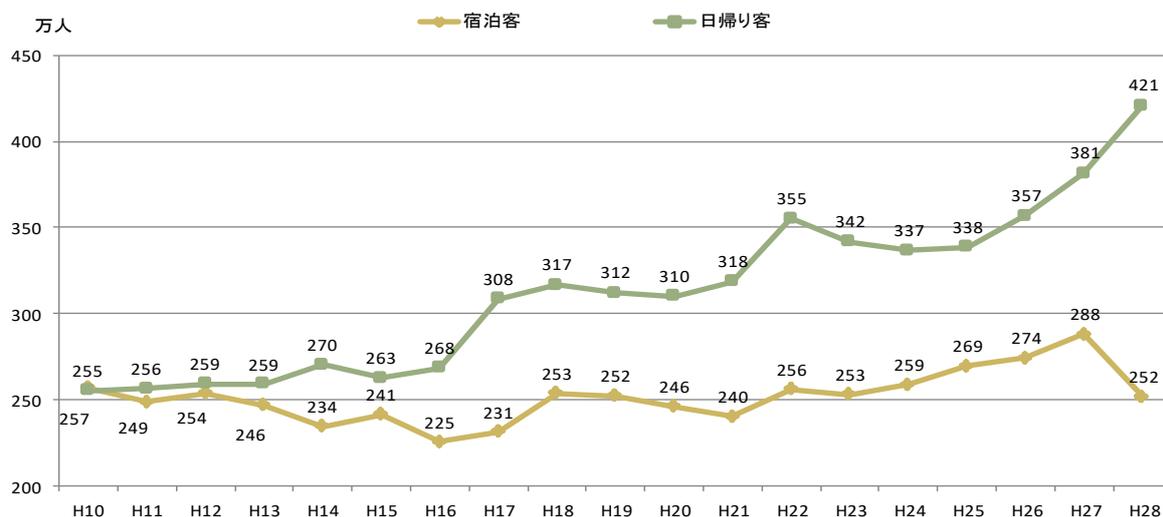


6 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	前年比増減	構成比	人数	前年比増減	構成比
平成 10 年	2,567,300	△9.0	50.2	2,550,400	6.4	49.8
平成 11 年	2,485,200	△3.2	49.2	2,562,600	0.5	50.8
平成 12 年	2,535,000	2.0	49.5	2,588,700	1.0	50.5
平成 13 年	2,464,600	△2.8	48.8	2,588,000	0.0	51.2
平成 14 年	2,342,400	△5.0	46.4	2,700,800	4.4	53.6
平成 15 年	2,412,000	3.0	47.9	2,625,500	△2.8	52.1
平成 16 年	2,253,700	△6.6	45.7	2,681,000	2.1	54.3
平成 17 年	2,311,400	2.6	42.9	3,082,100	15.0	57.1
平成 18 年	2,533,600	9.6	44.5	3,165,700	2.7	55.5
平成 19 年	2,521,500	△0.5	44.7	3,119,400	△1.5	55.3
平成 20 年	2,460,100	△2.4	44.3	3,099,400	△0.6	55.7
平成 21 年	2,401,700	△2.4	43.0	3,183,900	2.7	57.0
平成 22 年	2,557,700	6.5	41.9	3,550,600	11.5	58.1
平成 23 年	2,529,300	△1.1	42.5	3,415,400	△3.8	57.5
平成 24 年	2,586,800	2.3	43.5	3,366,100	△1.4	56.5
平成 25 年	2,694,100	4.1	44.3	3,383,900	0.5	55.7
平成 26 年	2,741,500	1.8	43.5	3,565,300	5.4	56.5
平成 27 年	2,879,800	5.0	43.0	3,814,000	7.0	57.0
平成 28 年	2,515,700	△12.6	37.4	4,207,800	10.3	62.6

図5 宿泊客・日帰り客の推移

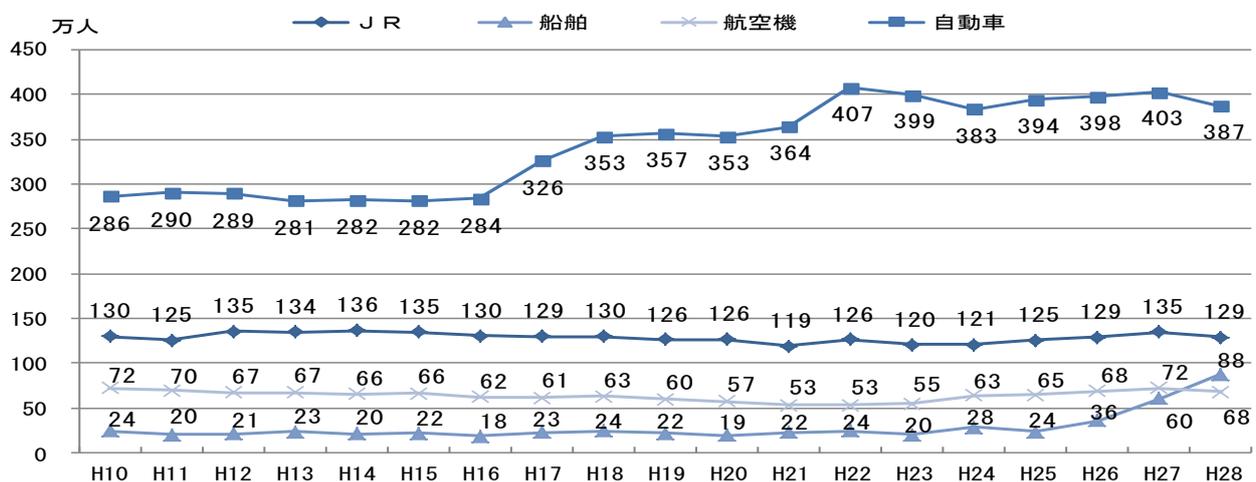


7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

年	J R		自動車		船舶		航空機	
	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減
平成10年	1,298,500	△3.8	2,861,300	△1.0	239,300	2.2	718,600	△3.2
平成11年	1,251,100	△3.7	2,901,400	1.4	198,300	△17.1	697,000	△3.0
平成12年	1,350,400	7.9	2,894,000	△0.3	206,600	4.2	672,700	△3.5
平成13年	1,344,800	△0.4	2,812,900	△2.8	229,300	11.0	665,600	△1.1
平成14年	1,361,400	1.2	2,822,400	0.3	204,400	△10.9	655,000	△1.6
平成15年	1,346,800	△1.1	2,815,500	△0.2	216,200	5.8	659,000	0.6
平成16年	1,302,300	△3.3	2,836,300	0.7	179,600	△16.9	616,500	△6.4
平成17年	1,294,600	△0.6	3,258,400	14.9	225,900	25.8	614,600	△0.3
平成18年	1,297,500	0.2	3,530,100	8.3	239,200	5.9	632,500	2.9
平成19年	1,260,200	△2.9	3,566,000	1.0	219,400	△8.3	595,300	△5.9
平成20年	1,262,500	0.2	3,533,800	△0.9	191,400	△12.8	571,800	△3.9
平成21年	1,191,600	△5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	△6.8
平成22年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	△0.4
平成23年	1,201,900	△4.6	3,994,900	△2.0	198,300	△18.1	549,600	3.5
平成24年	1,207,900	0.5	3,832,000	△4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成25年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	△15.0	648,900	2.2
平成26年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成27年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成28年	1,291,700	△4.2	3,870,900	△3.9	879,200	46.4	681,700	△4.9

図6 交通機関別観光客数の推移



8 クルーズ客船乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	75 隻	199,031	131 隻	434,543	197 隻	717,288	65.1

(2) 国内クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	3 隻	1,808	2 隻	1,585	7 隻	5,565	251.1

(3) 国際クルーズ客船乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

順位	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比
1	中国	71,450	中国	244,657	中国	446,366	85.6
2	台湾	15,394	台湾	16,734	アメリカ	13,453	2.6
3	日本	13,415	日本	12,568	日本	12,738	2.4
4	アメリカ	9,355	オーストラリア	7,152	カナダ	9,728	1.9
5	オーストラリア	8,006	香港	6,068	オーストラリア	8,120	1.6
-	その他	20,230	その他	26,135	その他	30,856	5.9
計	-	137,850	-	313,314	-	521,261	100.0

② 乗務員数

【単位：人】

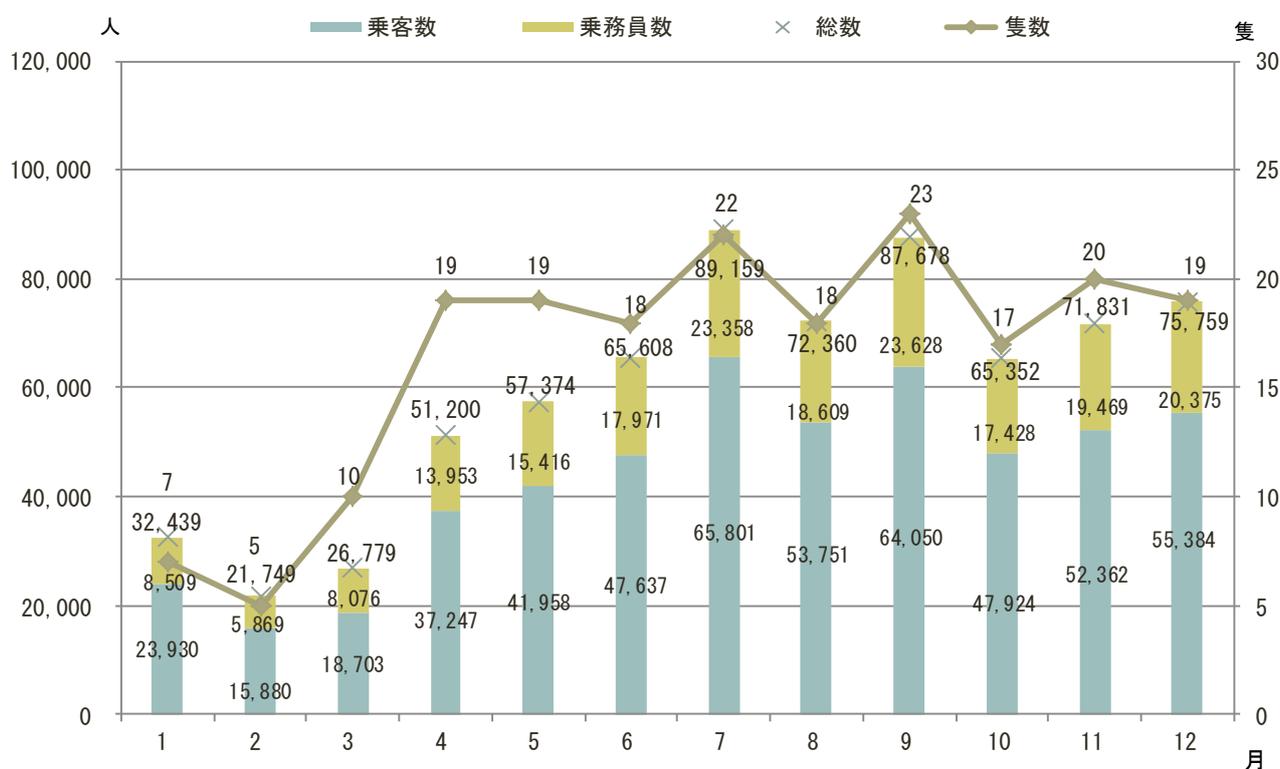
	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	前年比増減
計	-	59,373	-	119,644	-	190,462	59.2

乗客・乗務員数(①+②)

【単位：人、%】

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	72 隻	197,223	129 隻	432,958	190 隻	711,723	64.4

図 7 月別クルーズ客船入港隻数・乗客・乗務員数

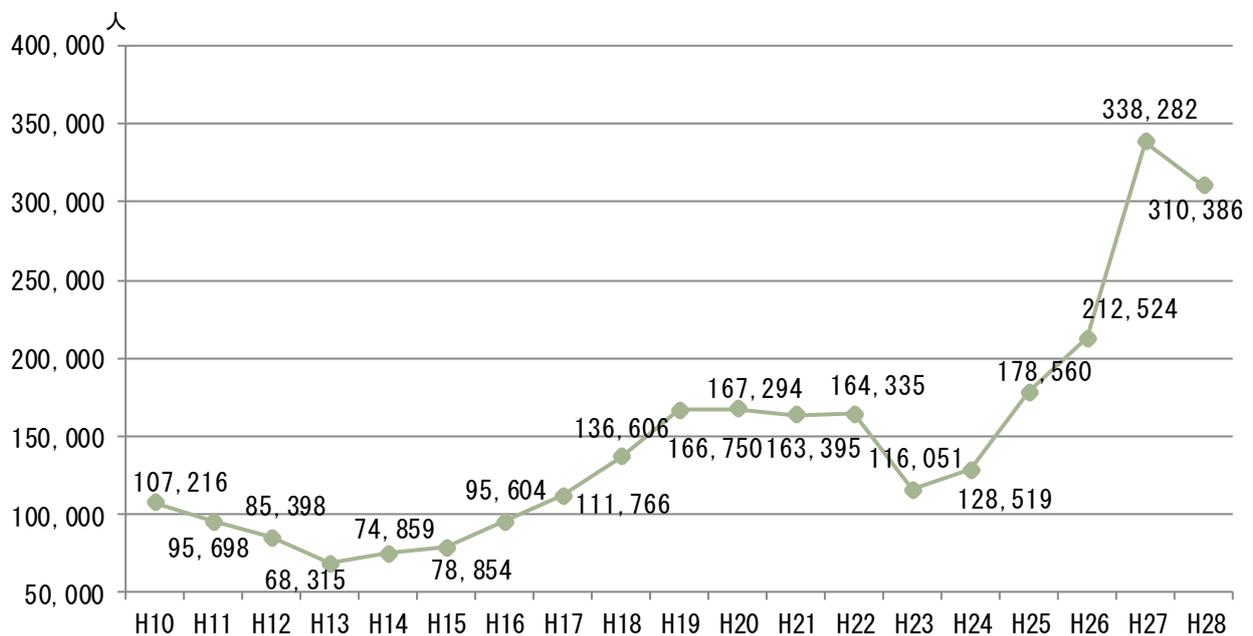


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成 10 年	107,216	17.8
平成 11 年	95,698	△ 10.7
平成 12 年	85,398	△ 10.8
平成 13 年	68,315	△ 20.0
平成 14 年	74,859	9.6
平成 15 年	78,854	5.3
平成 16 年	95,604	21.2
平成 17 年	111,766	16.9
平成 18 年	136,606	22.2
平成 19 年	166,750	22.1
平成 20 年	167,294	0.3
平成 21 年	163,395	△ 2.3
平成 22 年	164,335	0.6
平成 23 年	116,051	△ 29.4
平成 24 年	128,519	10.7
平成 25 年	178,560	38.9
平成 26 年	212,524	19.0
平成 27 年	338,282	59.2
平成 28 年	310,386	△ 8.2

図 8 外国人延べ宿泊者数の推移

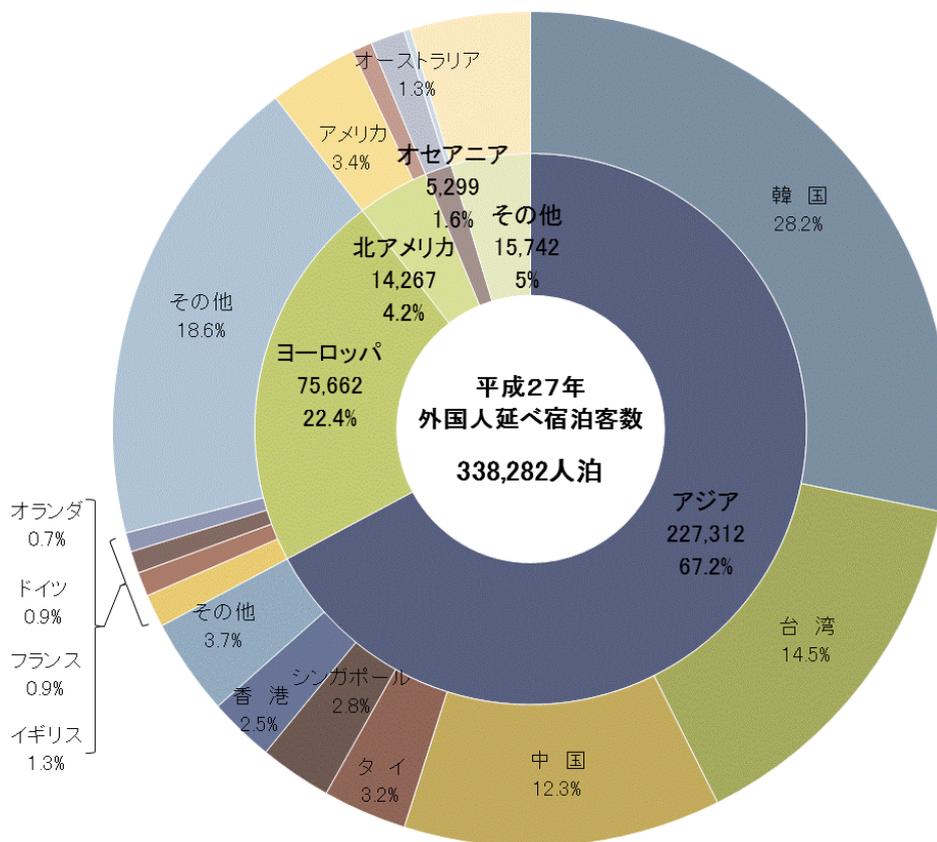
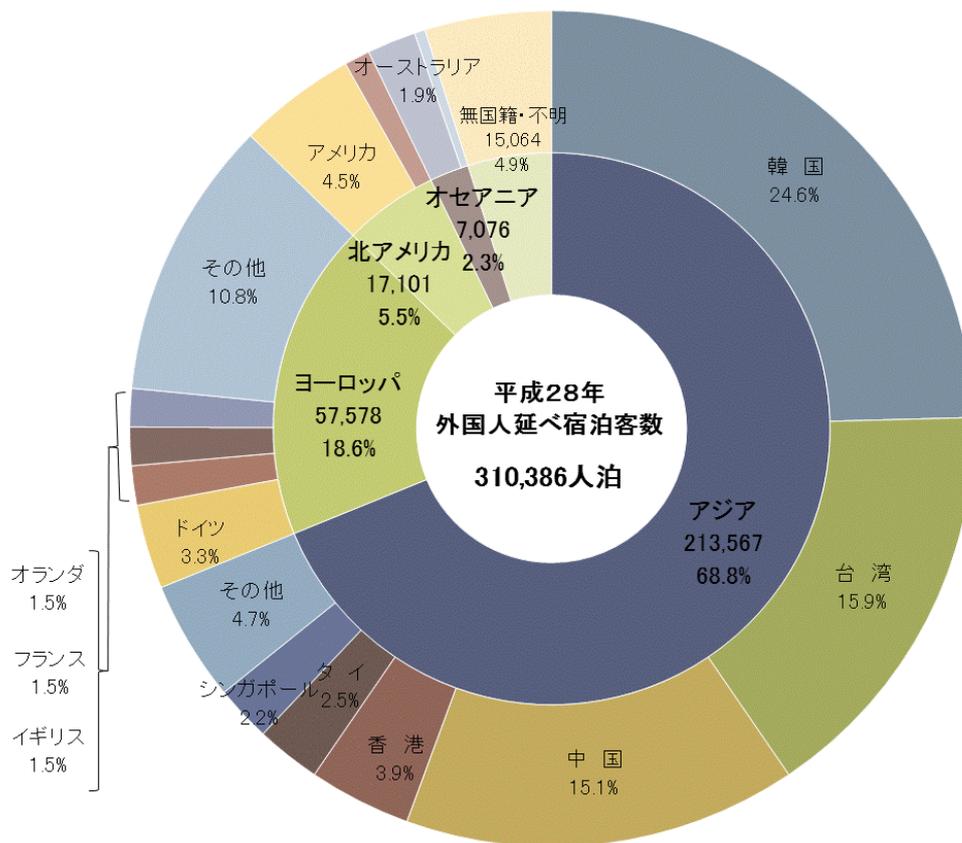


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年			
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比	前年比増減
1	韓国	70,946	韓国	95,289	韓国	76,262	24.6	△20.0
2	台湾	38,100	台湾	48,906	台湾	49,444	15.9	1.1
3	中国	18,809	中国	41,487	中国	46,797	15.1	12.8
4	シンガポール	8,857	アメリカ	11,584	アメリカ	14,029	4.5	21.1
5	アメリカ	8,411	タイ	10,970	香港	12,198	3.9	42.4
6	タイ	7,767	シンガポール	9,421	ドイツ	10,119	3.2	248.8
7	香港	7,016	香港	8,569	タイ	7,698	2.5	△29.8
8	オーストラリア	4,429	オーストラリア	4,472	シンガポール	6,704	2.2	△28.8
9	イギリス	3,129	イギリス	4,308	オーストラリア	5,804	1.9	29.8
10	フランス	2,310	フランス	3,141	イギリス	4,718	1.5	9.5
11	オランダ	2,071	ドイツ	2,901	フランス	4,594	1.5	46.3
12	ドイツ	1,548	マレーシア	2,506	オランダ	4,594	1.5	83.6
13	カナダ	1,448	オランダ	2,502	フィリピン	4,501	1.4	197.1
14	ニュージーランド	939	カナダ	2,234	カナダ	2,483	0.8	11.1
15	マレーシア	935	フィリピン	1,515	ノルウェー	2,452	0.8	446.1
-	その他	35,809	その他	88,477	その他	57,989	18.7	△34.5
計		212,524		338,282		310,386	100.0	△8.2

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



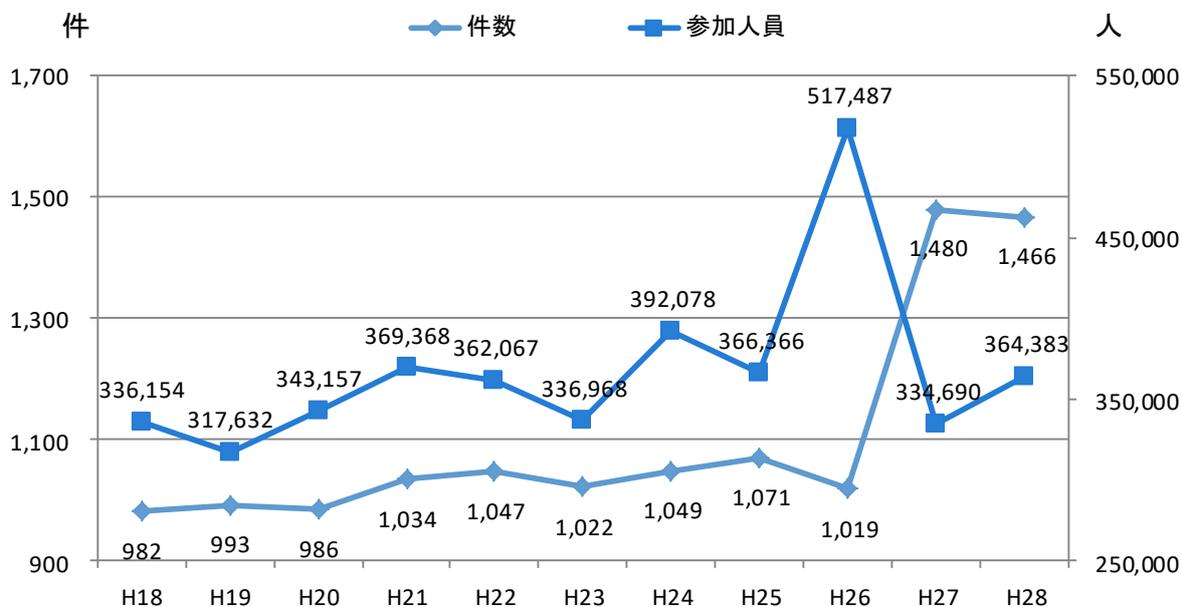
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員		
		うちスポーツ コンベンション		うちスポーツ コンベンション
平成 18 年	982	—	336,154	—
平成 19 年	993	—	317,632	—
平成 20 年	986	—	343,157	—
平成 21 年	1,034	—	369,368	—
平成 22 年	1,047	—	362,067	—
平成 23 年	1,022	—	336,968	—
平成 24 年	1,049	304	392,078	201,889
平成 25 年	1,071	303	366,366	188,239
平成 26 年	1,019	222	517,487	360,228
平成 27 年	1,480	234	334,690	135,460
平成 28 年	1,466	249	364,383	176,300

図 10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

【単位：件、％】

規模（人数ベース）	件数			
	平成 27 年	平成 28 年	構成比	前年比増減
100 人未満	774	716	48.8	△58
100 人以上 ～ 300 人未満	451	476	32.5	25
300 人以上 ～ 500 人未満	104	113	7.7	9
500 人以上 ～ 1,000 人未満	80	94	6.4	14
1,000 人以上 ～ 2,000 人未満	48	46	3.1	△2
2,000 人以上	23	21	1.4	△2
計	1,480	1,466	100.0	△14

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	平成 27 年	平成 28 年	構成比	前年比増減	平成 27 年	平成 28 年	構成比	前年比増減
県内大会	1,017	1,068	72.9	51	203,390	217,624	59.7	14,284
九州大会	218	193	13.2	△25	48,633	54,205	14.9	5,572
西日本大会	27	18	1.2	△9	7,016	4,617	1.3	△2,399
全国大会	194	172	11.7	△22	61,827	78,453	21.5	16,626
国際大会	24	15	1.0	△9	13,824	9,434	2.6	△4,390
計	1,480	1,466	100.0	△14	334,690	364,383	100.0	29,693

※ 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

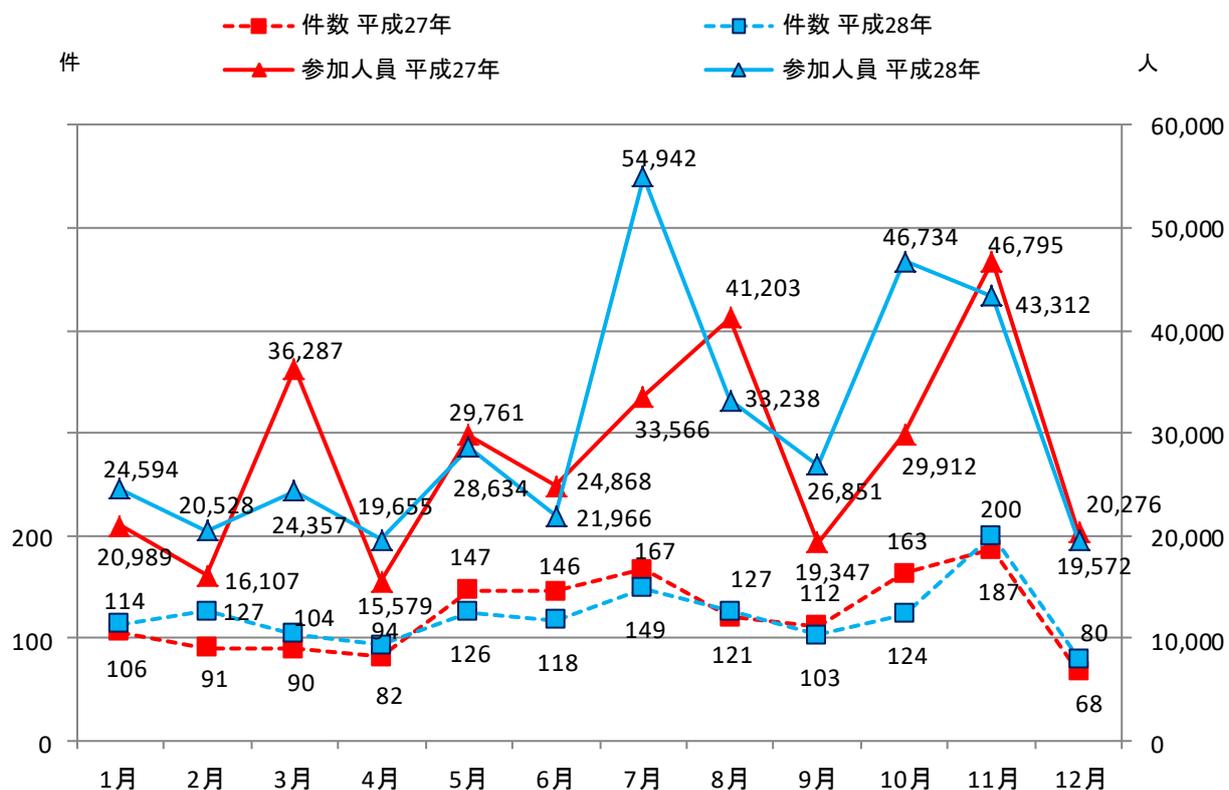
(3) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	平成 27 年	平成 28 年	構成比	平成 27 年	平成 28 年	構成比
1 月	106	114	7.8	20,989	24,594	6.7
2 月	91	127	8.7	16,107	20,528	5.6
3 月	90	104	7.1	36,287	24,357	6.7
4 月	82	94	6.4	15,579	19,655	5.4
5 月	147	126	8.6	29,761	28,634	7.9
6 月	146	118	8.0	24,868	21,966	6.0
7 月	167	149	10.2	33,566	54,942	15.1
8 月	121	127	8.7	41,203	33,238	9.1
9 月	112	103	7.0	19,347	26,851	7.4
10 月	163	124	8.5	29,912	46,734	12.8
11 月	187	200	13.6	46,795	43,312	11.9
12 月	68	80	5.5	20,276	19,572	5.4
計	1,480	1,466	100.0	334,690	364,383	100.0

※ 構成比については、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

図 11 月別の開催件数及び参加人員



12 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果2,015億円が、「平成28年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,161億円の約1.74倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で29,036人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食店（13,544人）」、「商業（5,119人）」、「宿泊業（3,857人）」である。

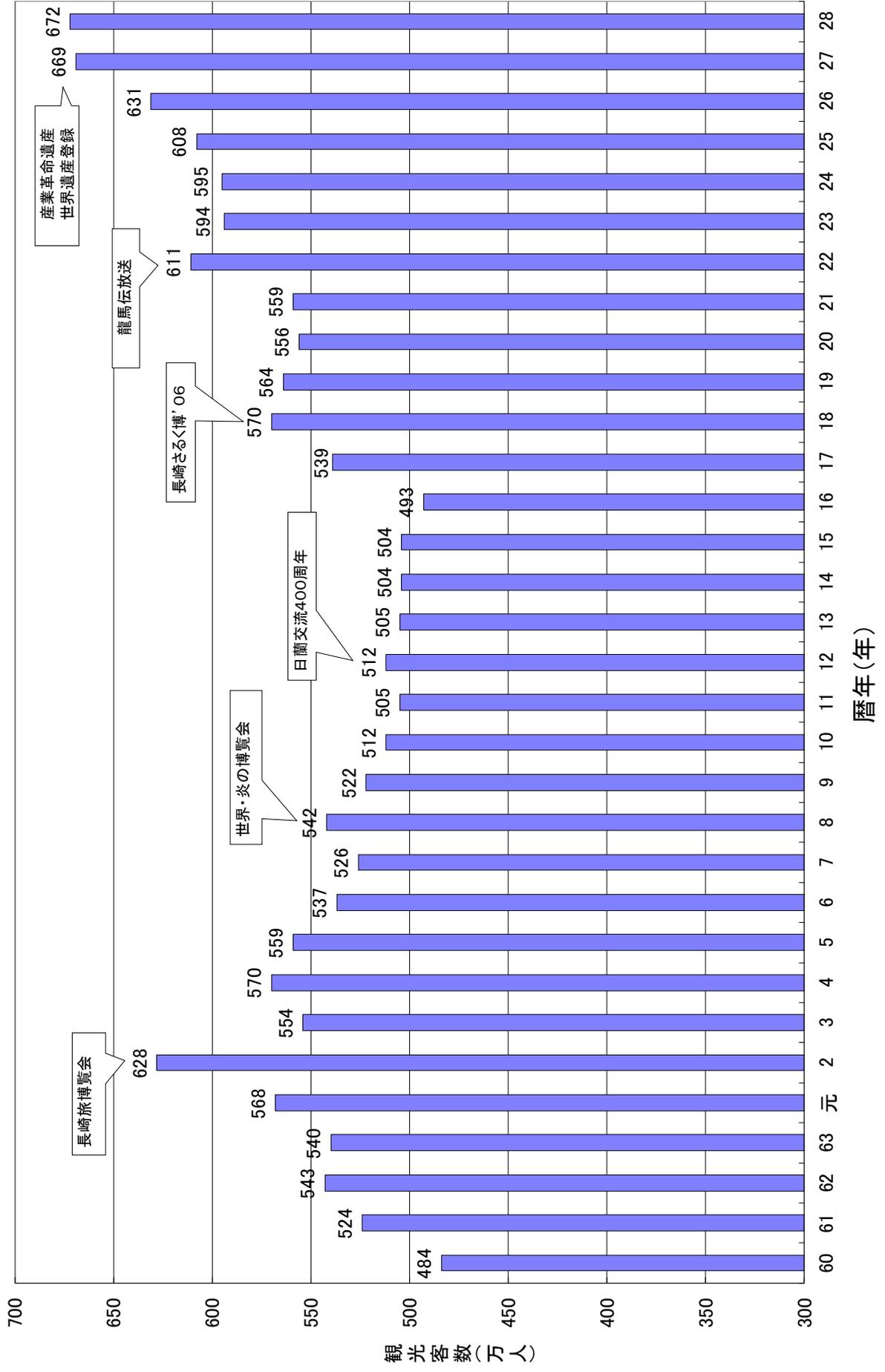
【単位：億円、人、％】

項目	平成27年	平成28年	前年比増減
総合効果（①+②）	2,151	2,015	△6.3
直接効果…①	1,235	1,161	△6.0
飲食店	659	680	3.2
宿泊業	328	278	△15.2
商業ほか	248	203	△18.1
波及効果…②	916	854	△6.8
間接1次波及効果	537	492	△8.4
間接2次波及効果	380	362	△4.7
就業誘発効果（就業者誘発数）	30,749	29,036	△5.6

※ 端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

参 考 资 料

1 観光客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	前年比増減
グラバー園	1,038,202	1,192,038	1,013,646	△15.0
出島	437,812	443,384	404,788	△8.7
原爆資料館	667,721	737,994	678,856	△8.0
計	2,143,735	2,373,416	2,097,290	△11.6

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：万人、％】

イベント名	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	87.0	92.0	90.0	△2.2
長崎帆船まつり	17.2	21.8	4.9	△88.3
計	104.2	113.8	94.9	△16.6

※ 平成 29 年の長崎ランタンフェスティバルの集客数は、前夜祭を除く 15 日間で 89 万人（平成 28 年比 1.1％減）。なお、前夜祭を含めた集客数は、94 万人。

(2) 経済波及効果

【単位：億円、％】

イベント名	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	73.0	90.4	87.8	△2.9
長崎帆船まつり	9.1	7.8	2.2	△71.8
計	82.1	98.2	90.0	△8.4

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員（平成28年4月1日現在）

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	27	106	2,558	106	2,770	585	4,880	599	6,064
旅館	36	641	79	53	773	2,546	132	280	2,958
ビジネスホテル	28	63	2,305	8	2,376	200	3,186	37	3,423
民宿・ ペンション	37	248	53	19	320	559	81	35	675
ユースホステル ・ホステル	6	27	23	10	60	109	129	45	283
公営宿泊施設 ・保養所	15	90	226	20	336	440	1,053	128	1,621
計	149	1,175	5,244	216	6,635	4,439	9,461	1,124	15,024

(2) 種別・規模別の宿泊施設数（平成28年4月1日現在）

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 200人未満	200人以上 300人未満	300人以上 400人未満	400人以上 500人未満	500人以上	計
ホテル	3	4	6	6	6	1	1	27
旅館	23	7	2	1	1	1	1	36
ビジネスホテル	7	9	7	3	1	1	0	28
民宿・ ペンション	34	3	0	0	0	0	0	37
ユースホステル ・ホステル	4	2	0	0	0	0	0	6
公営宿泊施設 ・保養所	7	2	1	4	0	0	1	15
計	78	27	16	14	8	3	3	149

平成28年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-0031

長崎市桜町4-1（長崎商工会館4階）

電話番号 095-829-1152

FAX番号 095-829-1232

発行：平成29年5月



長 崎 市